

コミネット宝木だより

第2回 宝木地区防災防犯訓練 開催

平成29年11月23日（金）に宝木地区防災防犯訓練を、宝木地区公民館駐車場・大会議室にて第2回 宝木地区防災防犯訓練を開催しました。

今回の防災防犯訓練の目的は、以下の3点を目的として開催しました。

- (1) いつ起こるか分からない、地震や火災、また不審者の進入などに備え、火災予防や、災害時の人命の安全と速やかなる退避方法を知る。
- (2) 宝木地区全住民の“危険から自己の生命を守る意識”を育てる。
- (3) 防災・防犯と災害発生時の対応に当たり、宝木地区全住民の連帯感を醸成する。



宝木地区の8集落すべての集落の住民の皆様を対象とした防災防犯訓練に、役員の皆様を含め60名超の方に参加をいただきました。ありがとうございました。



粉末消火器を使用し、実際の火を消す訓練と、水消火器を使用した訓練を行う



心肺蘇生法、AED使用法について説明を受けた後、人形を使用した訓練を行う



消火ホースの伸ばし方、消火栓との繋ぎ方を学び、実際に放水する訓練を行った



倉吉在住の防災アドバイザーに、「防災まちづくり」というタイトルで講和頂いた



備蓄の必要性について説明
備蓄品の展示・試食

ふれあい市 冬 開催



平成29年12月25日（日）宝木地区公民館駐車場にて「ふれあい市 冬」が開催されました。地域の皆様や商店による野菜、海産物、正月用品、アクセサリなどの販売や、来場の皆様を対象とした抽選会、白玉ぜんざいの振舞いを行いました

活力ある町づくりのニュース二題

宝木地区まちづくり協議会
会長 米田 克彦

先日のテレビ番組で「ハッ！」と思ったことがあった。
それは、若い人の意見が取り入れられ、実現するということだ。
年寄りや経験者は、助言を求められない限り、後押し・協力を徹するのだそのだそうだ。
近所では「何を若い者が言うだいや」とか、「女のくせに・・・」等と言われ、若者が希望をなくし、他所に住み着いている。宝木校区は山陰線にも国道9号線にも更には山陰道にも近く、住みよい場所であるのに。
二つ目は、本年一月六日（土）付けの日本海新聞のニュースだ。
少子化で、都道府県立高校の減少が進む中、廃校により地域の活力低下を防ごうと、町村が高校運営に名乗りを上げている。例として、廃校危機の道立奥尻高を引き継ぎ、町立奥尻高として運営を開始した。
このような動きもある中、小・中学校の統合廃校が進められている。
皆さんはどう思われますか。